

千葉県防災士連絡会の

これからの活動をみんなで考える資料

千葉県防災士連絡会 意見交換会 2021/06/20

はじめに

令和元年の「房総半島台風」「東日本台風」「房総豪雨」は、私たちの県土に大きな爪跡を残しました。また、私たちの防災への覚悟や取組みにも、貴重な教訓を残しました。

私たち千葉県北部支部の防災士は、被災した人々や地域へどのようなことができたのか、さらにそれ以前に、災害が成す前に必要なことを果たしていたのかを、問いかけてきました。

ある街では、自治体の災害対策本部へ参画し、いろいろな地域ではボランティアセンター立上げ支援、ボランティアとしての復旧活動ほかの協働実践経験から、数多のことを学びました。事前の防災啓発活動で至らなかったこと、活動理念の実効性、防災活動の基底をなすものなどなど。

私たちは、この教訓を活動の本源に、日本防災士会千葉県北部支部を継承発展させる団体として、今一度考えます。

10年以上にわたる千葉県北部支部の活動で学び感じたこと、築いた防災関係者との信頼と絆、地域の人々からいただいた要望などが、承継され発展できるよう みなさんと意見交換をしたいと考えました。

県内で防災に携わる、より多くの方々と、防災への願いと目標共有を行い、達成に向けて切磋琢磨して技量向上に努め、地域防減災の協働推進に貢献するため、防災士という枠はさておいても、北部支部から承継する「防減災活動をする市民防災リーダー」の育成が目指せる団体となれるよう討議したいと思います。

意見交換の前提

- ※会の名称は、臨時総会会則で決められた「千葉県防災士連絡会」と名乗っておりますが、今後の活動内容等により、名称変更もあり得ます。**この名称に捕らわれず意見交換**をお願いします。
- ※旧北部防災士会には、**様々なスキルを持った会員**が在籍し活動しています。**それぞれの防災への取組方は尊重**し、防災活動の是非や価値観を決めつけることは考えておりません。
- ※本会の**活動により多くの方が参画する機会**を創出し、本会の活動により、みんなが愉快で豊かな人生の一片の糧となれることを祈るものです。
- ※以下に提示してある諸施策等は、決定ではありません。現役員会で議論しつつ、みなさんの忌憚のない意見が少しでもくみ取れ、また会務に参画していただけるように考えた**「たたき台」**にすぎません。
- ※施策等は「中長期目標」であり、実施の際はロードマップとPDCAが必要であると考えます。

1.北部支部**承継団体として、分かりやすさが必要**

- 旧北部支部会員から見て
- 過去に支援要請を応諾した団体(自治体/防災関連機関ほか)との顔つなぎの維持拡大

対応策

1-① 事業展開は継続する = 次期総会事業活動案で踏襲

1-②-1:臨時総会で会員から負託された事業活動は実行する責務がある

※コロナ禍の中、活動できていない。

対応策

1-② 広報宣伝活動が重要

1-③-1:他防災団体にはマネができない期待感の醸成が必要

- 旧北部支部から承継する実績の誇示
- 会員として帰属する魅力度、達成感を期待させる施策の発表

1-③-2:これまで支援をしてきた団体への再案内展開

- 宣材ツールを作成してプロモーション活動を行う
- 会員への具体的な事業活動の提示と会務参画会員の募集
- HPのリニューアル

2.旧北部支部活動で未達成な点(≒会員不満点?)などを改善し、会員が本会に 帰属する満足度を向上させる

- 会員が防災士として叶えたい活動を支援できる仕組みを作る
- より多くの会員が、会務や活動に参画できる機会を作る
- 会員間のコミュニケーションの場づくりを促進する

対応策 2-①

会員が防災士として叶えたい活動を支援できる策を推進

2-①-1:会員が防災士活動で取り組みたいと思っている活動支援施策立案

- ①防災情報の提供：47.8% ②地区防災計画の支援：45.6% ③災害ボランティア：44.4%
④防災訓練の実施：41.1% ⑤災害時の救助活動補佐：37.8% ⑥防災講演の講師：36.7%
※県内防災士(N=90) アンケートより

2-①-1:A=「勉強会」開催し、地域防災リーダーの養成と確立を促進する

- ◆防災情報の提供と意見交換 ◆地区防災計画の支援をする教材の提供や研修、講師派遣等
- ◆防災講演のプレゼン研修、講師用プレゼンツールの提供 ◆防災訓練手法の共有、資材提供 ほか

2-①-1:B=災害ボランティア(社協登録以外)が可能なボランティア保険の推奨

- ※平常時及び災害時のボランティア活動で、社協以外の活動でも可能な保険加入(交渉中)
基本：780円(1年間)+オプション⇒活動中の天災特約:2,270円+特定感染症危険特約:1,080円
死亡・後遺症：3,000万円、入院:日額6,500円×180日、通院:4,000円、損害賠償:3億円
・屋根上作業やフェンスも対象

対応策 2-②

より多くの会員が、会務や活動に参画できる機会を作る

2-②-1:本部/支部、理事会体制の施行 ※これまでは、副支部長多数を任命

2-②-2:「事務局」を全理事と幹事(会員から募集するスタッフ)で分担し協働する

P.5
参照

対応策
2-③
会員間のコミュニケーションを促進する

2-③-1: 支援要請活動に、より多くの会員が参加しやすい風土づくりを目的として、「仲間意識が醸成できる群れる場づくり」施策を遂行する。

◆勉強会 ◆研修会 ◆ワグミーティング ◆専門部会 ◆懇親会 ◆支部会など

2-③-2: 支援活動時に、着用するユニホームを作成・販売または活動時に貸与する。

2-③-3: HP(会員限定コーナー)の活用、メールニュースなどの発行

3. 会員が当会に帰属し満足感がある施策、防災士会非加盟の防災士を取込みを図る施策の立案

対応策
3-①
会員が当会に帰属する満足感達成と防災士会非会員への施策

3-①-1: 防災士活動で達成したいことを実現化する施策を講じる

Q: 防災士資格取得目的

- ① 知識や経験を活動に活かしたい : 66.7% ② 市町村のために活動したい : 64.4%
 ③ 自己研鑽したい : 32.2%

Q: 防災士の重要な役割

- ① 行政や各団体との連携で地区防災に努める : 82.2% ② 行政と住民との調整役 : 61.1%
 ③ 防災専門家として地区住民のリーダーとなる : 43.3% ④ 地区外の防災にも取り組む : 42.2%

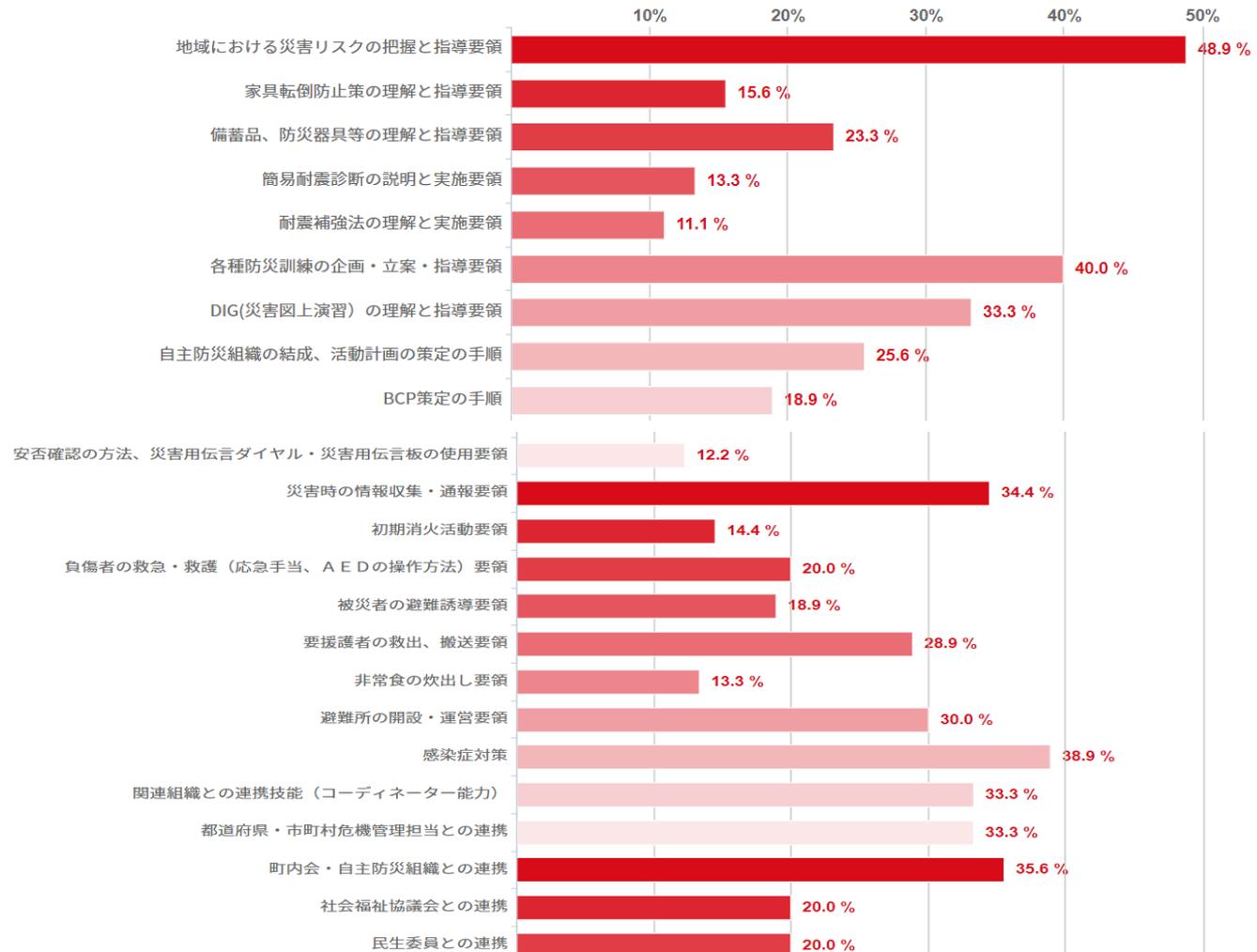
Q: 防災士の活動として適切と思うもの

- ① 他の防災士、住民、行政との普段からの連携 : 78.9% ② 災害時に近隣住民を助ける : 54.4%
 ③ 実績を重ねる : 48.9% ④ 十分な知識、技能を得てから活動する : 31.1%

※県内防災士(N=90) アンケートより

対応策 3-②

3-②-1:防災スキルアップ習得目標と達成感が感じられる研修を実施



※県内防災士(N=90) アンケートより

会務執行運営組織

千葉県防災士連絡会本部

理事長

理事長は、本会を代表し、その業務を総理する。

副理事長

理事長を補佐し、理事長に事故ある時及び理事長が欠けたときは、定めた順序によって、その職務を代行する。

専務理事

理事会(議長)及び事務局運営総括責任者事務局長は、支部長の命を受け、事務局の事務を総括する。

理事

理事は、理事会を構成し、規約及び総会、理事会の議決に基づきその業務を事務局として執行する。

監査委員

金銭出納関係及び事業全般の監査を行う

事務局

- **総務部** 理事会招集連絡/議事録や活動記録作成、名簿管理ほか
- **経理部** 金銭の出納、財産管理を執行する
- **支援調整部** 防減災活動支援要請を調整管理、支部支援活動応援ほか
- **広報・コミュニケーション推進部** HPほか広報活動、宣材作成、
タウンミーティング懇親会を支部共催 ほか
- **事業推進部** 催事・研修企画運営、事業活動推進、タウンミーティング等支部連携
会務運営に関する施策立案 ほか
- **専門部会** テーマ別に専門部会(複数登録可)を設置し会員間連携を促進する
例：無線/防災研究/男女参画/救助/防災教育/ドローン/ハット ほか

事務局は、理事と幹事(役員外会員)で構成する。

審議議決会議体

総会

理事会

※支部長はオブザーバー参加

災害対策本部

事務局部会 (適時
個別合同)

専門部会 (適時)

千葉県防災士連絡会支部

※会員の地域分布や会員数を加味し設置する
例：災対コー単位や「千葉県大規模災害時応援受援計画
受援計画」等で地域割り

支部長

副支部長

会員

協働会員

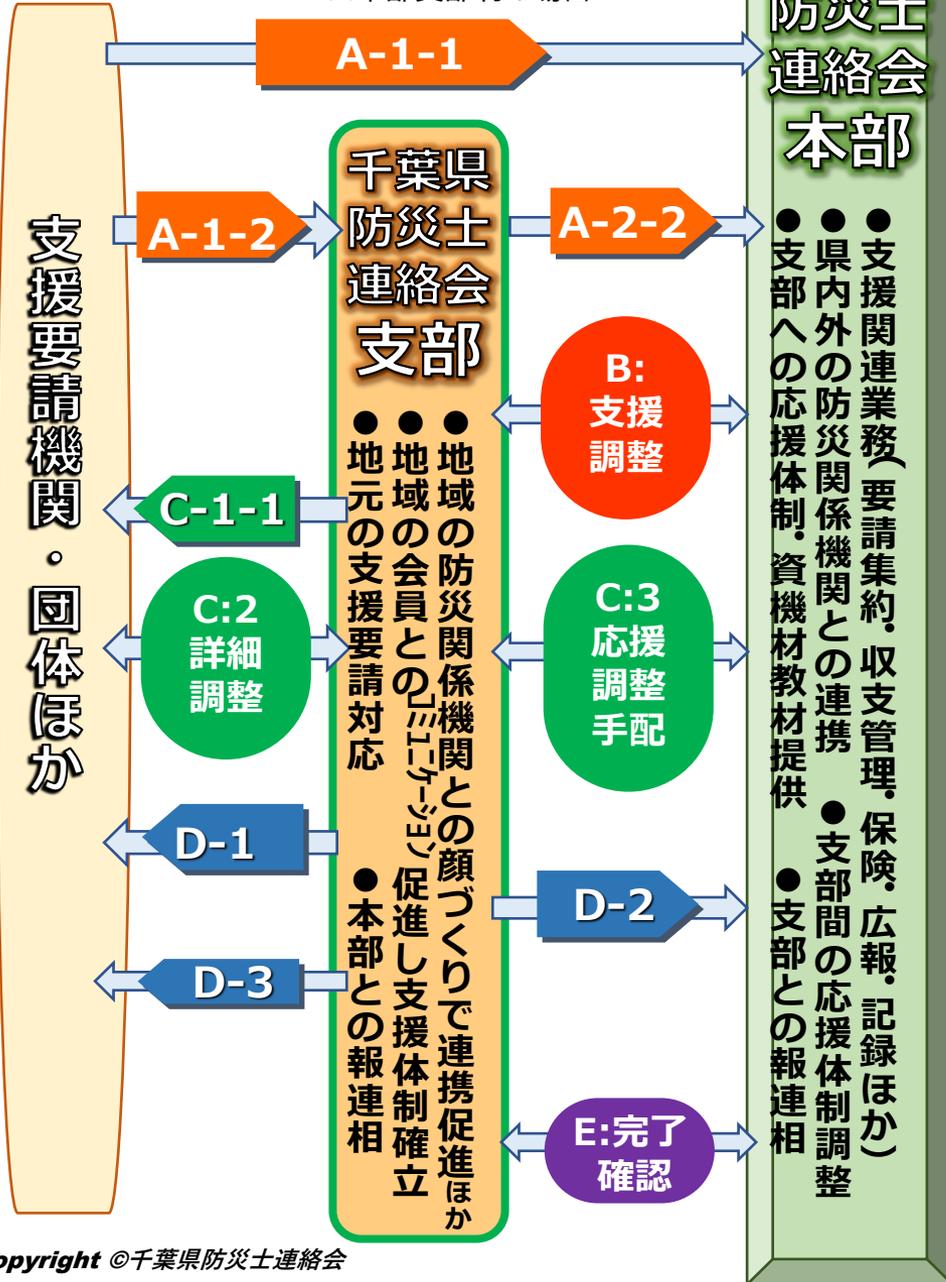
支部会

タウンミーティング
懇親会 など

顧問・賛助会員

防減災活動支援要請案件展開図(案)

※本部支部制の場合



A:依頼

A-1-1

本部への直接依頼(HPへの投稿、メール、電話、郵便等での依頼申込み)

A-1-2

支部への依頼(HPへの投稿、メール、電話、郵便、口頭等での依頼申込み)

A-2-2

本部への報告/連絡/相談

B:支援調整

- ① 応諾可否判断
- ② 派遣者を支部と調整/手配
- ③ 外部特別講師依頼など手配
- ④ 資機材や教材の手配準備等の支援
- ⑤ 保険手続き(平時発災時可の新型のボランティア保険) その他(募集・広報ほか)

C:応諾

C-1

支部から応諾通知。支部調整担当指名

C:2:詳細調整

- ① 支部と依頼主とで内容調整
- ② 支部内で派遣者を募集/打合せ

C-3:応援調整

- ① 支部以外の派遣者を募集
- ② 本部調達資機材教材手配ほか

D:実施

D-1

- ① 支援活動実施
- ② 前払金/資機材教材確認

D-2

- ① 実施記録(写真/報告書/経費精算ほか)
- ② 資機材教材ほか本部返却

D-3

- ① 次回への課題整理/反省会
- ② 諸経費ほか精算

E:完了確認

- ① 収支管理
- その他(広報・記録ほか)